

第5期 人材育成実施方針

2026年5月 制定

国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構

1. 第5期人材育成実施方針

第5期中長期計画期間の開始に伴い、宇宙航空分野を取り巻く環境は大きく変化しており、JAXAに寄せられる期待や役割も、これまで以上に多様化・高度化している。

このような状況においても、JAXAの力の源泉は職員一人ひとりの成長と挑戦にあるとの認識のもと、「組織はひと」であることを基本に人材育成に取り組む。

経営が示す理念や方向性に共感し、職員一人ひとりが責任と誇りをもって主体的に学び、挑戦し、成長していく「自律的なキャリア」の実現を支える。そのため、JAXA人材育成プログラムを通じて、キャリア段階や役割に応じて必要となるスキルを体系的に整理し、成長の道筋を分かりやすく示すとともに、個々の多様な背景やモチベーションを尊重しながら自律的な成長を後押しする。さらに、環境の変化に対応した学び直しを促進することにより、自ら考え行動する学びと挑戦を支援する。

また、これまで各部門等で実施されてきた研修や人材育成の取組を改めて整理し、ALL JAXAとして一体感と戦略性をもった人材育成を推進する。人材育成は、以下の三つのスキルを柱として、体系的なプログラムとして実施する。

- ・ヒューマンスキル
人と協働し、チームや組織として成果を生み出す力
- ・コンセプチュアルスキル
組織や事業を俯瞰し、課題を構造的に捉え、将来を構想する力
- ・テクニカルスキル
業務を正確かつ効率的に遂行するための専門知識・技術・ノウハウ
(ITや生成AI等の汎用スキルを含む)

ヒューマンスキル及びコンセプチュアルスキルについては人事部が中心となって育成を進める。一方、専門性に直結するテクニカルスキルについては、各事業部門等と連携しながら、現場に根ざした育成を進める。

人材育成は研修のみで完結するものではなく、評価(考課)を通じた自己認識、日々の業務を通じた経験の蓄積、異動・配置による新たな挑戦機会の付与等を通じて、学びと実践を循環させながら進めるものである。こうした一連の取組を人事施策全体の中をつなぎ、職員一人ひとりが成長のストーリーを描ける人材育成を実現する。

2. JAXA が目指す人材像

JAXA 新理念や人材育成実施方針にもとづき、第 5 期中長期計画期間における「目指す人材像」を以下のとおり定める。

- JAXA が目指す人材像

宇宙航空がもたらす未来像を共に描き、
責任と誇りをそなえ、
日々学び、挑戦し続ける人材

【解説】

JAXA は、宇宙航空を通じて、幅広い英知とともに生み出した成果を人類社会に展開し、その生活を進化させることにより、日本国及び日本国民並びに国際社会に貢献するとともに、人びとの喜びや驚きを創出することが期待されている。

その実現に向けては、すべての職員が宇宙航空がもたらす未来像を共有し、俯瞰的かつ長期的な視点で、自らどのような未来を描き、どのように実現していくのかを主体的に考えることが重要である。

また、仲間の多様な個性や思いを尊重し、感謝や思いやりをもって互いの成功に貢献する姿勢を持つとともに、社会に対する責任と誇りをもって誠実に行動し、信頼と期待に応えていくことが求められる。

さらに、宇宙航空の研究開発機関として、専門能力や技術力、基盤的能力を高い水準で維持・向上させるとともに、役割や期待の多様化を踏まえ、企画力、研究開発力、プロジェクト遂行力、事業遂行力、組織管理力等の多様な能力を発揮していく必要がある。

これらの能力は一朝一夕に身につくものではなく、日々の経験を通じて学びを積み重ねながら、主体的に挑戦し続ける姿勢によって涵養されるものである。

すべての職員がこの人材像に対する共通認識を持ち、組織として能力と意欲の向上に取り組む。

以上